

相双地域保健医療福祉推進計画の進行管理方法

1 基本的な考え方

- 相双地域保健医療福祉推進計画の着実な推進を図るため、6つの主要施策ごとに施策の進行状況を点検し、今後施策を展開するうえでの課題の抽出を行い、その課題解決の取組を具体化するための方向性を導き出す（PDCAマネジメントサイクルの確実な実行）。

主要施策		施策数	指標数	モニタリング指標
(1)	復興へ向けた保健・医療・福祉の推進	3	4	
(2)	全国に誇れる健康長寿地域の実現	6	10	
(3)	質の高い地域提供体制の確保	7	5	
(4)	安心して子どもを生み育てられる環境づくり	3	5	
(5)	いきいき暮らせる地域共生社会の推進	6	5	3
(6)	誰もが安全で安心できる生活の確保	4	8	
計		29	37	

2 進行管理の方法

- 相双地域保健医療福祉推進計画の進行状況の点検は、6つの主要施策ごとの施策及び指標の進捗状況を毎年度把握、分析することにより実施する。
- 福島県保健医療福祉復興ビジョンの保健・医療・福祉に関する施策の進行管理と整合を図りながら点検に取り組むものとする。
- 多様な意見の反映、客観性の向上を図るために、点検結果は相双地域保健医療福祉協議会に報告・意見聴取を行う。
- 相双保健医療福祉協議会からの意見を踏まえ、総合計画・福島県保健医療福祉復興ビジョンとの整合性を図りながら、次年度以降の取組等に反映させる。

3 進行管理の様式

- 推進計画の施策に係る主な取組みと指標の進行状況（資料4）

各指標の目標・実績と推移を把握し、その達成状況を分析し、PDCAマネジメントサイクルを確実に実行していく。

このため令和6年度実績から新たに各年度の目標値を定め、**年度毎の達成状況を把握**し、より深く「現状の分析」を行う。

6つの主要施策ごとの「施策の主な方向」や「主な取組み」に基づき、「課題と今後の対応」を導き出し、施策を点検していく。